

会 議 録

会議の名称	第19回白岡市地域公共交通会議及び 白岡市地域公共交通確保維持改善協議会合同会議
開催日	平成29年1月17日(火)
開催時間	午前10時から 11時55分 まで
開催場所	白岡市役所庁舎 4階 特別大会議室
会長の氏名	秋葉清一郎
出席者(出席委員)の氏名・出席者数	高橋直樹(代理者 石倉実希雄)、明野真久、細井将司、鶴岡 洋 (代理者 金川新吾)、高原 昭、市村春樹、折原茂幸、浅野悦子、 広田勝明、古屋 仁、中村 仁、畦地英樹、星野敏毅、尾崎晴男、 中川幸廣、秋葉清一郎、藤井政範、中村輝久 18人
欠席者(欠席委員)の氏名・欠席者数	佐々木 操、今村典央 2人
説明員の職・氏名	市民生活部 部長 野口仁史 地域振興課 課長 河野 彰 地域振興課 公共交通推進室 室長 大久保 栄 地域振興課 公共交通推進室 主査 内田英俊 企画政策課 主査 腰塚武朗
事務局職員の職・氏名	市民生活部 部長 野口仁史 地域振興課 課長 河野 彰 地域振興課 公共交通推進室 室長 大久保 栄 地域振興課 公共交通推進室 主査 内田英俊
その他会議出席者の職・氏名	なし 傍聴者 8人
会議次第	1 開会 2 挨拶 3 会議事項 (1) 白岡市のりあい交通の運行状況について

	<p>(2) 地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価（案）について</p> <p>(3) その他</p> <p>4 閉会</p>
配布資料	<p>会議次第</p> <p>会議資料</p> <p>1 白岡市のりあい交通L o g分析</p> <p>2 白岡市のりあい交通アンケート調査報告書</p> <p>3 白岡市のりあい交通の課題の整理について</p> <p>4 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）、事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	1 開会 野口市民生活部長の進行により会議が開会した。
秋葉会長	2 挨拶 秋葉会長から挨拶が行われた。
	3 会議事項
	(1) 白岡市のりあい交通の運行状況について
事務局	事務局から資料に基づき運行状況と今後の課題について説明が行われた。
秋葉会長	事務局の説明について、質問等あればお願いしたい。
A委員	資料1 9ページの予約の成立状況を見ると、キャンセルが多いようであるが理由を把握しているのか。
事務局	正確には把握していないが、キャンセルについては予約を確定させた後に取り消した処理を集計したものであり、記録を見るとオペレーターの確定処理の後に予約を微調整しているものが多いようである。乗車前に連絡があり、乗車を止めるということよりそうした形のキャンセルが多いと考えている。
A委員	高齢者の移動にかかる時間は、一般的に1キロメートル13分程度、遅い方で15分程度であるが、のりあい交通の乗降場所については、どの位の距離として設定しているのか。
事務局	のりあい交通の乗降場所については、2種類ある。 一つ目は目的地と区分したものであり、公共施設、病院、学校、集会所などである。こうした施設については、市内の需要のある場所をほぼ網羅していると考えている。

	<p>二つ目は、共通乗降場所と区分したものであり、自宅の代わりに登録していただく場所で、具体的には、普段使用しているごみの集積所である。ごみの集積所としたのは、日常生活において、徒歩で利用していることと、近所の方々に「のりあい交通」を利用する際に乗合を発生させることに配慮したためである。また、この共通乗降場所については、長距離の歩行が難しい方などには、自宅を登録いただけることとなっている。</p> <p>「のりあい交通」では、このように乗降場所を設定しているため、移動距離としては考えていない。</p>
A委員	<p>私の所属している団体では、「のりあい交通」の制度をよく理解していない方が、ある程度いる様子である。</p>
事務局	<p>アンケート結果からは、「のりあい交通」という事業について、ある程度認知されてきていることが伺えるが、制度内容についてはまだまだ御理解いただけていない状況と考えている。このため、今後は、制度の内容を理解していただけるような周知活動を行っていききたい。</p>
B委員	<p>資料1、2では、収支などの金額の記載がないが、どのような状況なのか。</p>
事務局	<p>(2)で協議していただく内容と関係するので、平成27年10月から平成28年9月までの期間の収支状況を申し上げますと、収入は3,521,100円、運行費用は21,564,000円であり、収支率は16.3%であった。生活交通確保維持改善計画記載の目標である収支率15%は上回ったところであるが、残りを公金で負担していることから、少しでも向上するよう努力していききたい。</p> <p>なお、この他に国庫補助金として、4,034,000円の交付を受けている。</p>
C委員	<p>アンケート報告書2ページを見ると、「のりあい交通」の利</p>

事務局	<p>用者が増えるとタクシー利用も増えると考えられる」との記載があるが、タクシー会社の収支を確認しているのか。</p> <p>タクシー会社の収支は確認していないが、ここでの記載内容は、既存公共交通機関と適切に連携・役割分担しながら「のりあい交通」の利用者増加を図っていくことを考えるという意味であるので御理解いただきたい。</p>
D委員	<p>アンケートの結果からすると、「のりあい交通」を利用している方は3割がタクシーから転換したとのことであり、「のりあい交通」を利用できないときにタクシーを利用する方が6割であった。</p> <p>このことは、タクシー会社としては、利用者が減少しているということであり、「のりあい交通」の利用者が増えることが必ずしもタクシーの利用者増となるわけではないことを理解していただきたい。</p> <p>利用者の利便性の向上は必要であると思うが、「のりあい交通」の利便性向上に力を入れ過ぎると経費負担が増えて費用対効果のバランスが崩れてしまうので、「のりあい交通」と他の公共交通機関との役割分担が必要である。</p>
E委員	<p>私の会社では、「のりあい交通」よりも景気動向の影響の方が大きいと感じている。体感としては、「のりあい交通」の影響の程度はパーセンテージで言う和一桁台であると思う。</p>
F委員	<p>意見として述べさせていただくと、資料2 25ページの自由意見No.13は、20歳代の方からの御意見である。埼玉県の利根地域においては、人口が減少していることを考えると、こうした若い人の意見も受け止めて、人口が流出しないよう配慮しながら事業を展開してほしい。</p>
秋葉会長	<p>それでは、会議事項の(2)に入ることとしたい。</p>

事務局	<p>(2) 地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価（案）について 事務局から資料に基づき説明が行われた。</p>
秋葉会長	<p>質疑があれば、お願いしたい。</p> <p>(質疑なし)</p>
秋葉会長	<p>質疑ないため、原案のとおり提出することとしたい。</p>
企画政策課	<p>(3) その他 企画政策課からシティプロモーションの一環として「のりあい交通」の車両に「シラオ仮面」のラッピングを施すことの説明がなされた。</p>
秋葉会長	<p>質疑があれば、お願いしたい。</p>
G委員	<p>ラッピングの方式は、マグネット形式なのか、それともフィルムを貼り付けるのか。</p>
企画政策課	<p>フィルムを貼り付ける形式である。</p>
事務局	<p>4 閉会 野口市民生活部長が閉会を宣した。</p>